

倶知安の議会



～建設中の学校給食センター～

主な内容

- 特集「議会報告会」…………… 2 P～4 P
- こんなこと決まりました…………… 5 P
- 決議書・意見書…………… 6 P
- 行政報告…………… 7 P
- 一般質問
 ここが聞きたい一般質問…………… 8 P～23 P
- 常任委員会活動報告…………… 24 P
- 町民の広場・議長室からこんにちは…………… 25 P
- 議会の動き…………… 26 P

「議会報告会を6会場で開催」

議会活性化の一環として、前号で特集した「まちなか懇談会」に続き、4月に6回にわたり開かれた「議会報告会」を特集いたします。

議会報告会は、定例議会開催後に、議会で決定された事項や議論された内容などを住民の皆さんに報告するものです。更に、報告を通じて住民皆さんの疑問や意見を聞く場として取り組み始めました。

また、議員をA・B・Cの3班に分けてそれぞれ2班ずつが担当する形をとって臨みました。

A 班	榊	政信・作井	繁樹・小川	不朽・盛多	勝美・木村	聖子
B 班	三島	喜吉・原田	芳男・森下	義照・古谷	眞司・坂井	美穂
C 班	田中	義人・笠原	啓仁・阿部	和則・山田	勉・門田	淳



第2回 琴和福祉会館
日 時 4月16日 17時30分
参加者 32名
担当班 B班・C班



第1回 克雪管理センター
日 時 4月15日 15時30分
参加者 24名
担当班 A班・C班



第4回 高砂地域センター
日 時 4月26日 18時30分
参加者 10名
担当班 C班・B班



第3回 八幡地域センター
日 時 4月25日 17時30分
参加者 20名
担当班 B班・A班



各報告会で住民の皆さんから出された要望事項
要望やご意見、ご質問
は担当する常任委員会へ
振り分けしました。

- ・ **じゃがりん号**について
- ・ じゃがりん号を農村地区にも走らせて欲しい。
- ・ 週に1〜2度でも良い。
- ・ 郊外に走らせて欲しい。
- ・ スピード感のある対応を促して欲しい。

- ・防災センターとして（旧校舎を活用して）推進して欲しい。
- ・利用方法を早く決めて欲しい。役場庁舎としての利用もあるのではないか。

- ・再稼働に反対すべき。
- ・当事者意識をもち、もつと議論すべき。
- ・原発に関する補助金は入っているのか。(もしそうならば) 原発災害に關しての防護備品に

全てを使つて欲しい。
原発の「安全確認協定」
について調査、議論を
行つて欲しい。

- ・役場庁舎の改築はどうするのか。
- ・庁舎の老朽化が激しい。対策は。防災面からもしっかりした庁舎が必要。

- ・ふるさと納税の返礼品を増やし、目立つようにはしては。

- ・町長・副町長・教育長は報酬を上げた。議員報酬は上げないのか。
- ・まちづくり懇談会の議事録を取り、町広報やHPなどで公開すべきでは。
- ・ニセコひらふ地区では、外国人が旅館業法等の法律や規定に違反して営業している者がいるのに放置している。消防、警察、行政が合同で立入検査するなどするべき。

- ・統合保育所並びに認定こども園の送迎サービス。

- ・統合保育所と認定こども園全体の定員を増やして欲しい。3歳児以降も同じ所に預けたい。3歳未満児と一緒にいることで縦割り教育も可能になる。
- ・統合保育所の説明会を開催してほしい。

- ・公衆浴場がなくなり不便。なんとかならないか。

- ・町営住宅に住んでいるが、お風呂がない。安価な公衆浴場が必要だ。
- ・子どもからお年寄りまで憩える、図書館を併設したような温泉施設をお願いしたい。

- ・新給食センターを多目的に活用はできないのか。
- ・現給食センター跡地の利用方法は。

- ・任意団体への助成金の見直しや継続性を。
- ・スキーの町宣言をして

- ・障がいを持った子は、町外の高校へ行かなければならない。俱知安で将来の展望が持てるようにしてもらいたい。
- ・空き家の管理が悪く、落雪などで困っている。
- ・行政の関与で改善して欲しい。
- ・教職員住宅の改修をして欲しい。

- ・スポーツ表彰の審議
表彰時期の見直し。

- ・馬鈴薯の輪作体系確立と事業予算の増額を。
- ・農業を基幹産業と捉え、しっかりと育てるべき。
- ・森林管理、治山事業は農業にとつても重要。しっかりと行つて欲しい。
- ・TPP対策は、町としてどう考えているのか。

財政難の今、それで良いのか。

結果につきましては、今後の議会広報やホームページを通して報告していく予定です。

問い合わせ先：議会事務局 TEL 56-8016

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。 TEL 56-8016 (直通)





羊蹄団地5号棟 長寿命化工事中

第2回定例会

平成28年第2回定例会を6月6日から16日までの11日間の会期で開催しました。
平成28年度一般会計、特別会計、水道事業会計補正予算を原案どおり可決しました。また、契約の締結1件、規約の変更3件をすべて原案どおり可決しました。

最終日には、10件の意見書と北海道・札幌冬季五輪パラリンピック招致に関する決議を採択しました。（6頁参照）
また、15人の議員が計39件の一般質問を行い、町政全般にわたる議論を行いました。

契約の締結

羊蹄団地5号棟長寿命化等改善工事請負契約の締結

7社の指名競争入札により瀬尾・宇田・一宮共同企業が落札。契約額は1億5876万円で、12月10日の完成予定。

補正予算

一般会計補正予算（第1号）は、4495万5千円の増額です。

人事異動に伴う賃金・総務費が主な要因です。歳出の主なものは、社会福祉費の1740万円などです。

その他、水道事業会計、高齢者医療事業、公共下水道の各特別会計の補正を行いました。

規約の変更

- ・北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約
- ・北海道市町村総合事務組合規約
- ・北海道市町村職員退職

同意

手当組合規約の計3件の規約を変更しました。

町監査委員に佐藤嘉己さんを選任することに同意しました。

6月30日で菅清次さんの任期が満了となるために選任されたものです。任期は7月1日から4年間です。



佐藤嘉己さん（62歳）

第4回臨時会

5月23日に開催し、町長が専決処分した2つの案件について報告を受け、一般会計、国民健康保険事業特別会計補正予算を原案どおり可決しました。

専決処分

3月18日に発生した車両物損事故の損害賠償額と賠償額の補正予算を専決処分したことの報告を受けました。

補正予算

一般会計補正予算（第1号）は、682万4千円の増額です。
熊本地震災害義援金が主なものです。
その他、国民健康保険事業特別会計の補正を行いました。

各議員の賛否

賛否の分かれた議案のみ掲載しています。他の議案については、全員が賛成しました。

審議結果	議案名等	小川 不朽	笠原 啓仁	坂井 美穂	門田 淳	古谷 眞司	木村 聖子	原田 芳男	山田 勉	作井 繁樹	田中 義人	榎 政信	阿部 和則	盛多 勝美	森下 義照	三島 喜吉
第2回 定例会																
可	2026年「北海道・札幌冬季五輪パラリンピック」招致に関する決議	△	△	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○

鈴木保昭議長は採決に加わりません。○は賛成、×は反対、△は退席、－は欠席

次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しにおいては、高齢者の自立を支援し、介護の重度化を防ぐといった介護保険の理念に沿って介護が必要な方の生活を支える観点から検討を行うことを強く求める。

と減少した。

この課題に質問が集中 「子ども・子育て支援」 「教育環境整備」



■木村議員
・小学校適正配置基本計

■門田議員
・統合保育所の開所時期、
町民への説明会、準備室
人員増、職員の募集につ
いて。

今回の一般質問は、子
ども・子育て支援や教育
環境の整備に関わる質問
が多く見られました。
「この課題に質問が集中
中」では、3人以上の議
員が類似した課題につい
て質問したものについて、
トピックスとして掲載し
ました。

■田中議員
・小学校適正配置の実施
時期と財政の見通しにつ
いて。統合した場合増改
築や教室数、放課後児童
クラブの子育て支援法と
の整合性。

画策定後の教育環境整備
や統合時期など、具体的
な実施計画について
・保育所や放課後児童ク
ラブなど子育ての切れ目
ない支援を。3歳以上の
保育所既存児童の預かり、
放課後児童クラブの小6
までの受け入れ拡大につ
いて。

・「小学校適正配置計
画」と「まちづくり計

■笠原議員
・統合保育所の開所に伴
う保護者の経済的・物理
的負担増について。町と
3幼稚園合同の説明会の
開催を。
・放課後児童クラブにつ
いて議会に陳情が。

■小川議員
・新しい制度の「支援計
画」の周知と、「3認定
こども園」・「新保育所」
などの体系や具体などに
ついて、「住民説明会」
を早急に実施すべきと考
えるが。

■原田議員
・統合保育所について、
町長宛に出された質問書
の回答は、保護者の疑問
や心配に応えるものにな
っていない。町民参画
の説明会を求める要望書
が出されているが。
・放課後児童クラブにつ
いて、町において小6ま
でが対象と条例で定めら
れている。完全実施を求
める。

画を連関させる理由は。
「学校適正配置」の基本
理念と最大の目的は。

■坂井議員
・中学生・高校生がピロ
リ菌の検査や治療を受け
られる環境づくり。
・適切な就学につなげる
ために5歳児健診の導入
を。発達障害に対する学
校現場の取組みについて。
・統合保育所において、
障がいのあるお子さんと
障がいのないお子さんが
できるだけ同じ場で共に
学ぶことを目指すインク
ルーシブ教育に対する考
え。

一般質問 町政を問う

— 15人の議員が39の質問 —

門田議員：
新幹線まちづくり／統合保
育所／地域おこし協力隊／
ふるさと納税／合同墓地

古谷議員：
新施設における緊急時の
ライフライン喪失のリスク
回避

木村議員：
小学校適正配置基本計画／
子育ての切れ目ない支援

作井議員
観光中核施設の進捗状況／
エリアマネジメントの環境
整備／役場庁舎のあり方

山田議員：
ふるさと納税返礼品選定の
対応／旧東陵中学校の利活
用

田中議員：
二セコひらふ地区の字名変
更、都市計画区域への変更
／小学校適正配置の実施時
期と財政

榊議員：
住生活基本計画／廃棄物処
理／情報共有と町民参加

阿部議員：
住宅事情と住政策／人事評
価制度の導入

盛多議員：
農業遺産登録と農村景観の
継承

森下議員：
旭ヶ丘公園の維持管理

三島議員：
北海道新幹線と町づくり／
尻別川河川整備計画と河畔
林の整備

小川議員：
「子ども・子育て支援」の
住民説明会／築50年の役場
庁舎

笠原 啓仁：
子ども・子育て支援／「ひ
らふ坂ロードヒーティング」
電気代の負担／「公の施設で
の喫煙」対策／小学校適正配
置計画／町の事務事業執行

原田議員：
統合保育所／放課後児童ク
ラブ／泊原子力発電所に係
る北電の説明会／エリアマ
ネジメント条例／JR在来線
の存続

坂井議員：
胃がんリスク検診の導入と
中高生ピロリ菌検査助成／
5歳児健診と発達障害の学
校現場の取り組み／文化福
祉センターバリアフリー化
と統合保育所



門田 淳 議員 … 5 件の一般質問

新幹線倶知安駅開業を見据えたまちづくり

町長：連携を図りながら取り組んで行く

門田 ①在来線のあり方について、まちとして、いつ判断するのか。

②駅前通り、駅周辺整備
中心市街地活性化基本計画、都市計画マスタープランをどう関連づけて整理していくのか。

③新幹線工事と在来線の進め方について。

町長 ①北海道新幹線並行在来線対策協議会の場で早期判断を提案していく。

②新幹線まちづくり検討委員会からの駅前通りのあり方についての中間報告を議論の土台として活用させてもらう。

③北海道新幹線の倶知安駅については、現位置での建設となり、おおよその位置関係は旧胆振線上に新幹線、その西側に在来線が配置されると聞いている。

門田 駅名について、いち早く進めていくのか。

町長 取り組み方法をこういう形で進めていきたいということ。

提言していきたい。

統合保育所について

門田 ①統合保育所の開所は、4月なのか。

②現在、保育所・幼稚園に通っている子どもを持つ保護者を含めた町民への説明会は。

③統合保育所準備室に人員を増やすべきではないか。

④開設に当たり何人の保育士が足りないのか。正規（保健師を含む）と臨時職員（看護師を含む）を、いつ、何人募集するのか。

町長 ①開所は、平成30年4月に開所する。

②今定例会後、6月末あるいは7月の第2週に保護者向け説明会を開催するよう準備を進めており、説明会には、3幼稚園の園長を交えて開催するよう調整中である。

③現在の係員が受け持つ事務量を鑑みて、増員を検討している。

④現在、正規職員の保育士は17名、子育て支援セ

ンターの係長1名となっており、保育所で保育に従事している保育士は16名である。

幼保再編支援基本方針においては19名となっており、方針に基づけば3名の補充が必要となる。

現保育所において、保健師、看護師等は配置されていないが、新しい保育所においては保健師1名、看護師1名を配置する予定である。

門田 待機児童解消のためには、臨時保育士、パート職員、調理師等、有資格者や経験を積んだ職員の安定した雇用が必須と考えられるが、

1年更新により3カ月の期間を空けるため、日々雇用などの不適切な対応がされている。

雇用される臨時職員はその期間、社会保険、雇用保険に加入されず、通勤手当なども支給されないなど、不利な条件を受け入れている状況である。その対応については。

町長 調整をしながらしっかりと進めていく。

門田 一時預かり事業、病児保育に関してもしっかり取り組んでいくのか。

町長 今後、内部でどのように進めるかは、検討中。

合同墓地について

門田 現状の調査や分析も踏まえて合同墓地についてはどう考えているのか。

町長 次年度の設置に向けて検討を進めている。

門田 関係団体との協議は。

町長 お墓にかかわりのある団体、とりわけ町内で墓地や納骨堂を運営する宗教団体関係者の皆さんからもご意見を伺いながら取り進めていきたい。

地域おこし協力隊

門田 地域おこし協力隊の今後の目指すべき姿について。

町長 この地域での活動にやりがい、愛着を感じ、将来この地域の担い手として定住・定着に向け、目的・目標を見失わないよう、地域と一体となった支援をしていきたい。

*その他にふるさと納税に関する質問をしました。



地域おこし協力隊員

教育長 給食センターの施設整備は、さまざまな要因により対応できないような状況とはなっていないが、災害時最短で機能を復帰するためには、どんな手法があるのかというあたり町長部局とも連携をし、各機関、業者とも協力し合いながら考える。



2点目の3歳以上の児童受入れについて、保護者に不安がないように対応していきたい。また、手続等については幼稚園と協議をしていく。

作井 繁樹 議員 … 3 件の一般質問

熊本地震では5市町の庁舎が使用不能に 役場庁舎が使用不能となることへの認識は

町長：熊本地震のような場合、使用不能になることが予想される



観光中核施設の進捗

作井 先の定例会にて討論で述べた「今後の進め方」の進捗状況、構想、役割、施設規模の整理は。

町長 それぞれの機能と役割分担の考え方は基本的に変わっていない。観光中核施設は必要な機能をコンパクトに。

作井 道有地の購入、施設の建設位置の整理は。

町長 道有地は取得ではなく、占有許可の方向。位置は駐車スペースを最大限確保するため、道道蘭越二セコ俱知安線側に。

作井 検討会、並びに議会との連携、整理作業は。

町長 3度の検討部会を開催したが、検討会に報告するまでの一定の理解、方向性を示す議論までに至っていない。

作井 関連予算の再提案時期の目途は。

町長 検討部会での熟度を上げ、検討会に報告、所管委員会に説明した中で、7月中の臨時議会で関連予算を提案したい。

作井 議会からの指摘事項の進捗率、並びに進捗率が何割程度まで上げれば再提案するのか。

町長 数字は出していないが、7月中には何とかできるのでは、というイメージ。鋭意努力する。

エリマネの環境整備

作井 エリマネジメンツに関する調査研究の昨年度の結果、並びに今年度の進め方は。

町長 目標像をレジデンシャルリゾートに定め、課題などを改めて整理。今年度は、その整理内容をともに、行政や住民エリマネ組織などが、それぞれの立場で取り組むべき内容を検討する。

作井 ニセコエリアの経済波及、本町の税収効果と行政コストの指標を。

町長 税収の伸び率、過去3年間での調定額比較では113%、約2億2千万円増。行政コストの数値化は難しいが、さまざまな行政課題がある。

作井 不動産取得税における税収効果の指標を。

町長 道税であり市町村は把握しておらず、道に問い合わせたが、道においても地区ごとの分析は行っていないとのこと。

作井 海外の先進地事例の功罪を学び、外資系からの投資との向き合い方を、今一度検討すべきでは。

町長 本年度、ひらふ地区におけるベッド数、駐車台数、グリーンなどの容量を調査、望ましい空間の検討業務を実施。

作井 先ずは本町行政全体の費用対効果の把握、加えて海外事例をしっかりと調査することが

必要。野放図にウエルカムではなく、どこかで規制するという考え方の整理も。

町長 今年度の調査で既存インフラでの最大値や海外事例も見えてくると思う。その上で今後どうするか議論をしたい。

役場庁舎のあり方

作井 熊本地震発災から2カ月、一般論として災害、並びに備えへの認識は。

町長 いつ、どの場所でも起こり得る可能性がある。それを踏まえ実効性ある防災計画の策定と、実効性ある訓練の実施が災害に備える事前対策と考える。

作井 庁舎が使用不能となることへの認識は。

町長 熊本のような震度7の大地震が連続して起きた場合、使用不能になることが予測される。

作井 旧東陵中学校舎への役場移転が最も合

理的。数年間の仮庁舎とし、その間に恒久的庁舎の検討を。

町長 役場庁舎は現在地在において検討を進めることが現実的。

作井 小学校適正配置基本計画では3校に統合、配置的には俱小廃校も選択肢。役場を移転しては。

町長 3校は実施計画の中で決定していくことに。今後の実施計画の進捗状況を踏まえ検討する。

作井 旧東陵中学校舎への移転、前町長は抵抗勢力の存在を示唆していた。抵抗勢力というものがあのだとすれば、だれ。

町長 抵抗勢力よりも、町民の意見を聞くに至っていない。新築・移転いずれであれ、積み立てもしていない。何一つできていない時点では判断できない。正式に庁舎内で検討会を立ち上げ、いろいろな角度から検証する。



山田 勉 議員 … 2 件の一般質問

旧東陵中学校の利活用状況

町長：利活用検討委員会で早急に取り組んでいく

山田 旧東陵中学校の利活用については、これまでさまざまな議論がされている。

厚生文教委員会では、発達支援センターの話など、一部の町民にも利用されている話もあるが、このままだと負の財産になりかねない。

今年で36年目になる建物だが、昨年議会で視察した時は、卒業生の寄せ書きが黒板に書かれていたり、音楽室の器材も散乱していたりと、子供達の育った学校の後始末もきちっとしなければ、適正配置はいいが、教育行政にも責任があるのではないか。見解を伺う。

町長 旧東陵中学校においては、平成25年3月閉校以来具体的な利活用方針が見い出せずに経過してきている。

昨年12月に電気、水道に係る一部の設備の修繕を行い一般町民への一部開放を行う事とし、新たな目線での利活用策の模索を図ってきている。

現在スポーツ少年団、音楽サークル、絵画、創

作活動等6団体の活動が行なわれている。

5月25日に羊蹄山麓発達支援センターの受託事業者及び町内福祉事業を行っている2法人から相談があり、5月31日に総合政策課、総務課、福祉医療課で利活用検討委員会を立ち上げ、早急に検討を進める事とし、逐次所管委員会へ報告していく。

山田 検討委員会を立ち上げたと言う事で安心したが、子供達の学舎の夢だった部分も継続して、暗いイメージを残さないよう頑張って取り組んで頂きたい。



旧東陵中学校の利活用はどうなるのか

ふるさと納税返礼品の対応

山田 現在、国内の和牛素牛価格はかつてない高騰となり和牛パブルとも生産者の中で叫ばれるほど肥育農家を圧迫している。

倶知安農高では和牛肥育を行い平成24年4月から地域と連携した取り組みに力を入れている。今年、倶知安産が出荷され具体的な話が進展する段階で中断されている。期間限定ではあるがチャンスをものにできていない。見解を伺う。

町長 ふるさと納税返礼品は、倶知安の魅力在全国に配信するため、町内の農産物、お酒、お菓子等現在17品目をホームページ上に掲載し、返礼品の選定は町の担当者が提供してもらえる販売業者に訪問し、制度等の説明をした上で協力をお願いをした後、発送等を委託している業者が販売業者と直接交渉して決定する流れになっている。

牛肉については、町外

業者に卸されている事と、真空包装にできない為、店頭に出す基準を満たせず、町内業者において取扱いができなく、地元農業高校で肥育された倶知安産で非常に魅力ある商品だが、断念せざるを得ない状況となった。

今後においては、委託業者と取扱いの方法等を検討し返礼品として追加できないか検討していく。

山田 4月から企業版のふるさと納税の話もある。町の財政が厳しい中考えていくべきだと思う。

コミュニケーションしながら周囲の状況及び先の事も考えられるよう頑張ってもらいたい。

田中 義人 議員 … 2 件の一般質問

小学校適正配置の実施内容・時期・財政
放課後児童クラブについて



町長：人口動態・まちづくり計画に併せて検討する



田中 小学校適正配置基本計画でいう3校とは、どこを指すのか。実施時期や増改築にかかる財政の見通しは。

町長 どの3校に統合するかは、今後のまちづくり計画と人口動態推計を見極めた上で慎重に検討していく。現段階では具体的な案は出ていない。第5次総合計画や教育基本大綱も頭出し程度。

田中 本町の放課後児童クラブの現状と子育て支援法との整合性は。小学校適正配置基本計画の実施時期は平成28年から平成31年となっているが、すでに財政シミュレーションがなされている時期と考えるが。

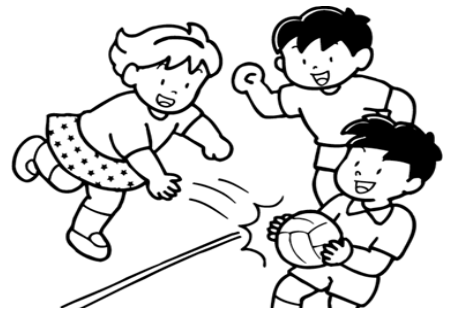
町長 小学6年生までの受け入れが法で定められているが、本町は3年生、一部は2年生までの受け入れに留まっている。今後は、教育委員会と協議し改善していきたい。

町長 財政シミュレーションについて、統合後は必ず増改築が必要と認識しているが、具体的には未だ取り組んでいなかった。今後取り組んでいく。

田中 放課後児童クラブについては、空き教室利用という枠から出て考えなければ解決しない。

町長 町が決めた事の事後報告ではなく、早い段階から保護者の意見を取り入れながら進めていくべきではないか。再度見解を伺う。

町長 児童クラブは、教室の他にも支援員の確保も課題と認識している。保護者の協力も募



二セコひらふ地区の字名変更と都市計画区域への変更は

田中 建物が増え続け、現在の地番のみでは建物が特定できない。レンタカー利用の観光客やタクシー、緊急車両等に支障が出ているため、字名変更を行うべきと考えるが？

町長 平成13年にも字山田を二セコ高原ひらふに変更する要望書が出されたが見送られた。しかし、昨今の状況からは住民の合意が得られるのであれば必要と考える。職権処理以外の関係機関との調整に時間がかかる事が予想されるが、都市部で行っている事例なども調査して検討する。

りたい。
また、今後はパブリックコメントなども活用して周知徹底と意見聴取について努力していく。

田中 東陵中学校跡地を放課後児童クラブとして活用できないか。

町長 可能かもしれないが、各学校の近くで行うべき。学校敷地内に一時的に施設を設置する対応も視野に検討する。

中で乱開発を規制してき
た。
この地区が抱える課題
解決に向けて、今後想定
される財政需要も見込み、
慎重に研究したい。

田中 8年前に準都市計画区域に定めた頃と、住民構成やコストも大きく変わった。財源確保・開発について明確な方向性を示すべき。

町長 都市計画マスタープランの見直しに併せて検討はできないか。再度見解を伺う。

町長 都市計画マスタープランの見直しは市街地分のみ。二セコひらふエリアについては、調査研究を進めていく。

田中 地域の諸問題を鑑みると、準都市計画区域から都市計画区域に変更する事が有効と考える。町長の見解は。

町長 平成20年に準都市計画区域と定め、都市計画税を徴収しない

阿部 和則 議員 … 2 件の一般質問

我が町の住宅事情と住政策



町長：居住支援協議会の立ち上げに向け検討していく

阿部

阿部 俱知安町住生活基
本計画の改訂版が
つくられた。この改訂版
では、将来人口と将来世
帯数ともに上方修正され
たことにある。

そこで問題となるのが、何らかの理由で住まいを確保できない方々、一軒家の維持が困難になり町を離れる高齢者、町営住宅に入らず民間のアパートは家賃が高すぎて、近隣の公営住宅に移っている方々。

最大の目標とした総合戦略では、人口予測は36年度時点で1万6094人、でもこの推計値は住むところがあつての話で高齢者と比較的給料の安い方々、住宅弱者に対する施策と政策は待ったなしと考えて、次の5つ質問する。

①計画では、高齢者や障がい者を対象とした総合的な入居支援制度の創設検討を行うとあるが、いづごろ立ち上げる予定なのか。

②新規事業化した高齢者と子育て世代の住み替え支援事業の事業概要と成果目標。

町長

町長 ①今年度、町内の民間賃貸住宅実態調査を実施、情報の収集及び整備し来年度、居住支援協議会の立ち上げに向けて検討していく。

②生活状況に適した住宅への住み替えを行う高齢者及び子育て世帯に対して、補助金を交付するもの。

成果目標は、これからスタートするので、今年度を基準として来年度以降には目標を設定できるように、住民の意向に耳を傾けながら進めていきたい。

異 ③

③町営住宅入居に係る抽選の優遇措置として、子育て世帯に対し、義務教育を終了する日までの子に見直しを行った。

公営住宅法及び俱知安

町営住宅管理条例の規定にのっとり対応している。

④既存の道営住宅の一部について、町が有償譲渡に応じることは可能かの確認があった。

有償譲渡を含む道営住宅建設の要望を継続協議とした。

⑤遊休町有地について、今後、企業誘致活動など町の施策により町有地を有効に活用してもらえる場合は、特定の企業等に貸し付け、売却をするこゝとも選択肢の一つであると考えている。

人事評価制度の導入

阿部

阿部 人事評価制度とは、一定のルールのもとに能力と業績の両面から評価して、人事管理の基礎資料とし、より明確な基準のもとで人事管理を行うというもの。

今まではあやふやな中



遊休町有地

でもやっていたが、評価者も被評価者も双方納得の

もとの人事異動が行われる可能性が生まれることになる。

どのスタンスで取り組んでいくのか伺う。

町長

町長 本町では、関係規程を整備の上、4月1日より導入した。

一般職全職員が被評価者となり、さらに管理職は評価者にもなり、能力評価と業績評価により評価されることになる。

今後は、みずからの職務遂行が職位に見合っているか、業績目標を達成するための業務スケジュール等を常に意識しながら、日々の業務に取り組んでいく。

人事評価制度を活用しながら、複雑多様化する町民ニーズに対応できる、より高い能力を持った職員 の育成を図りつつ、適正な人事評価の事務執行に努めていく。



盛多 勝美 議員 … 1件 の 一般質問

農業遺産登録と農村景観の継承

町長：農業は基幹産業の一つであり、しっかり取り組む

盛多

現在、本町では約1300ヘクタール

のじゃがいもが作付けされ、6月下旬から7月中旬までじゃがいもの花が満開に咲き誇り、訪れる観光客に初夏の風物詩として愛されている。

本町のじゃがいも栽培は、明治25年に始まり、長い年月をかけ男爵いもが普及し、作付け面積も順調に伸び、現在の礎となった。

そこで、本町のバレイシヨ生産の歴史と、将来に向けた資産として守っていくために、次の点について伺う。

①将来に引き継ぐべき農村の価値を発掘し、農産物のブランド化や観光客の増加を後押しする狙いとして設立する日本農業遺産の創設。

②年々増加するインバウンド（訪日外国人）を農村に呼び込むことを目指し、地域の食と農業・景観などを一体的に国が認定する食と農の景勝地の創設。

町長

バレイシヨは、本町の基幹作物であり、本町の農業を支えてきた歴史ある重要な作物だ。

①日本農業遺産の認定制度は、何世代にもわたる形づくられてきた伝統的な農業と、それにかかわって育まれた文化、風景、生物多様性などが一体となったものであり、世界及び日本における重要性や歴史的及び現代的な重要性を有するものを広く発掘し、その価値を評価するため、世界農業遺産の日本版として日本農業遺産が創設された。

本町のバレイシヨ栽培は、歴史的経緯はあるものの、栽培方法や品種など特長はなく、認定基準である国内的な重要性、歴史的な重要性、現代的な重要性について、現時点では基準を満たすことは難しいと考えている。

②近年、訪日外国人旅行者が急増しており、和食がユネスコの無形文化遺産登録を受けブームの火つけ役となり、2015年のミラノ国際博覧会で日本館が金賞を受賞した



本町の基幹作物 ～じゃがいも～

こともあり、海外では日本食の店舗が急増している。

食と農の景勝地の認定制度は、地域の食と、それを生み出す農林水産業を核として、訪日外国人を中心とした観光客の誘致を図る地域での取り組みを認定する制度である。

二七コエリアを訪れる外国人旅行者は年々増加傾向にあるが、さらなる増加を図る手段として、この制度を活用することの一つではないかと思う。

まずは、実行組織を立ち上げ、地域の食とそれに不可欠な食材を生産する農業や特長のある景観等の観光資源を活用して、訪日外国人旅行者をもてなすための取り組みを時間をかけて十分協議し、しっかりとした5カ年の取り組み計画書の作成が必要となる。

今年度の応募の締切りは7月29日と期間も迫っているが、次年度以降も認定制度は続くので、順次進めていきたいと思う。

1 件の一般質問

旭ヶ丘公園の維持管理



町長：できるところから維持管理に努める

森下 今、町の中では、
多くの人が新幹線

森 多くの人が新幹線延線や高速道路の完成に向け、駅前改善計画をはじめ周辺整備計画が話題になっている。これに伴い、旭ヶ丘公園の整備計画も最重要と推察する。

なぜなら、**俱知安**に人

を集め引き付けるものを検討しなければ、新幹線や高速道路が完成しても、俱知安は通過点に過ぎない状況だと思う。

旭ヶ丘公園から下側の

多目的広場、パークゴルフ場、温水プール、わんぱく広場は整備されているが、上側のピクニック広場、芝ざくら、散策道路は整備が必要と考える。

まず、ピクニック広場は、桜の時期には花見で賑わっていたが、現在には人氣を全く感じる程となつてゐる。従つて、周辺整備を行う必要がある。

次に、華やかな景観を保ち平成17年までは『芝ざくら祭り』が行われ町民をはじめ町外からも来町し賑わっていたが、年々華やかさが消滅し、

祭り行事も消滅した。そこで、これまでの維持管理について伺う。

町長 ピクニック広場について
は現状、樹

ついては現状、樹木が大きく育ち太陽光が届かず、暗い場所が多くなっているので、今後、採光を取り入れる形で維持管理を行うと共に、老朽化した施設についても、調査を行い、更新を検討し、公園管理を行っていく。

公園内の芝さくらの維

持管理については、除草作業が追い付かず雑草に浸食され、非常に見劣りする状況となった。

平成18年から平成20年

までライオンズクラブや
倶知安農業高校、ボラン
ティアで補植、草取り等
行ってきた。今後の維持
管理については、これま
での経緯を踏まえ、維持
管理の手法の検討を進め、
現状の3200平方メー
トルの維持管理を行って
いきたい。

下森 芝ざくらの維持管理の雑草取りの手が追いつかないとのこと

だが、例えば、土日を利
用して役場職員、議員も
交えて草取りをするとい
う手法もあり、町民にだ
け要求するのではなく、
積極的に奉仕の心を持つ
必要があると思う。そう
して、皆で維持管理をし、
人が集まる場所にするこ
とで町にも潤いが生まれ
るものと考えてる。

それから、ピクニック

広場だが、本当に樹木が生長し辺りが全然見渡せない。また、下刈もできていない状況であり、適切な処理をしているのかも伺う。

町長 芝ざくらの維持管理は、なかなか町民の雑草取り依頼も、要請してもボランティア的には募ってきていない。

毎年、農業高校の生徒

との雑草取りには、町職員やボランティアを募って一緒に年1回はきちんと取って、補植に協力をし、それ以外については維持管理上で、高齢者事業団と業務委託を兼ねて、維持管理に少し力を入れ雑草取りを行っている。既存の中だけの面積だ

けれども手を余す状況だが、何とか今の部分について管理し、皆さんに楽しんでもらえるように引き続き、維持管理をしながら、皆さんにもボランティアで協力をいただき、花を樂しめる環境を整えたいと考えている。

ピクニック広場の維持

管理の部分についても対応し、いろいろな施設の老朽化もあり、改修も含め、社会資本整備交付金の利活用もしながら、維持管理に努めていく。

下森
芝ざくらの雑草取
りのボランティア

を募っても集まりが悪いといわれたが、町側も積極的な姿勢を見せていかないと、町民に対しての要求だけでは無理だと思う。先般の議会報告会での意見では、手間のかからない花で山を埋め尽くし、観光客を呼び込めるような景観づくりを、という意見もあった。

また、ジャンプ台もな

ぜ撤去しないのか、雪ん子館も有効活用しなければ、とも言われた。ジャンプ台上にはレルヒ中佐

の記念碑が建造されており、スキーの諸々の歴史を後世に伝えるため、町政50周年記念行事として建造したとある。従って、後世に伝えるためには多くの人が行けるような改修、例えば、展望台など目玉となる改善計画が必要と思う。

町長 芝ざくらの現状の
部分については、手

法を検討し、維持管理をしていく。

ピクニック広場についても、旭ヶ丘公園全体のも更なる見直し、改善策を進めたいと思う。

現時点の長寿命化計画では、公園の遊具を優先し、整備中だが、終わりの次第、全体的に対策を講ずる計画状況である。前倒しのできるかは、内部で協議し、できるところから維持管理に努める。



三島 喜吉 議員 … 2 件の一般質問

新幹線建設は、まちづくりの大きなポイント

町長：先進地事例を参考に進めていく

三島

北海道新幹線の全線開通が2030年と、あと14年余りに迫ってきている。

①高架化の計画変更申請をしていると聞いたが、認可に向けての今後のスケジュールや動向について伺う。

②倶知安市街地地区を走るルートが、ほぼ現実のものとして想定されている。

今後、倶知安のまちづくりにとっても大きなポイントになると思うので、そこら辺の町長の考えを伺う。

町長

①北海道新幹線の新函館北斗～札幌間は、平成24年度に事業認可され、倶知安駅周辺は掘割式半地下構造となっている。

しかし、新幹線が町を東西に分離するとともに、新幹線と在来線により孤立する集落が見込まれることから、高架式への形式変更を要望してきた。

現在は、認可変更申請の手続中であり、国からの変更許可時期は未定である。

②町が想定する新幹線ルートとなる西4丁目通り、北7条西10号西側の沿線には、新幹線建設のため移転される方々が多数発生すると認識している。

ただし、高架形式での詳細なルートや屋根形式落雪等を考慮した余裕幅管理幅も示されていない状態では、想定される戸数を示すことができないことをご理解願う。

また、移転者には再度町内への居住を進めるため、都市計画・まちづくりとして住居建設を誘導する等さまざまな方法があるので、まずは最適な手法など先進地の事例も参考にしながら、議論を進めたいと考えている。

尻別川河川整備計画

三島

昭和42年に1級河川として指定された尻別川は、本町の中心部を流れる河川である。昭和36年・37年に大洪水が起き、農業地帯に大きな被害があった。

①100年というスパン

で災害を想定した整備計画が望まれているが、尻別川の河川整備計画の進捗状況はどうなっているか、伺う。

②河畔林の伐採計画があったが、計画が中止になった経緯がある。

地域住民から、水害の危険性回避のため、河畔林の整備を求める声があがっている。

河川管理者と一体となった河川整備計画を進めてもらいたい観点から町長の考えを伺う。

町長

①平成27年度中に尻別川圏域河川整備計画案が作成され、国へ許可申請を行う予定だったが、その後の状況について、小樽建設管理部真狩出張所に確認したところ、北海道庁河川砂防課より小樽建設管理部真狩出張所に対し、添付資料や図面の追加や修正などの依頼があり、現在、その作業に当たっているところ、計画案の作成を年内には終えたいとのこと。

②河畔林の整備は、整備計画原案の策定段階で、

地域住民や河川管理者との意見交換により、河畔林や河道樹木を保全する場所を設定しているが、河道の掘削、護岸の設置、堤防の整備などにより流下断面を確保する計画になっており、計画原案の維持管理において、環境や景観に配慮しながら洪水の安全な流下に支障となる場合には、必要に応じ調査や有識者等の助言を得るなどして、伐採など適切な管理を実施するとなっている。

本町としては、河川整備計画の早期策定の働きかけを行っている。また、整備要望について、小樽建設管理部との社会資本整備推進会議において意見交換するとともに、随時、小樽建設管理部真狩出張所と協議をし、自然環境の保全はもちろん自然災害における地域住民の生命及び安全を守り、安心して暮らせる河川であるよう河川管理者である北海道に要請し続けていく。



雨により増水した尻別川

小川 不朽 議員 … 2 件の一般質問

「子ども・子育て支援新制度」の住民説明会を

町長：開催する予定で準備を進めている。
説明し、意見・質問を受けたい。



小川 私立3幼稚園は来
年4月から順次

「認定こども園」へ移行
し、公立保育所は再来年
4月に統合保育所として
開所できるよう準備を進
めている。

新制度における「支援
計画」の周知と、新制度
における「3認定こども
園」・「新保育所」の体
系や具体、さらには「地
域子ども・子育て支援」
事業などについて、「住
民説明会」を早急に実施
すべきと考えるが見解を
伺う。

町長 私立3幼稚園は認
定こども園へと順
次移行し、本町の保育所
と子育て支援センターは
統合し、新しい保育所と
して生まれ変わる。

1号認定の施設型給付
を受けるに当たり幼稚園
には、昨年10月に本町職
員を派遣して保護者説明
会を開催し、子ども・子
育て新制度移行について
説明し、あわせて保護者
からの質問にも答えた。

統合保育所と幼保再編
に関する保護者説明会を
6月末、または7月第2

週のいずれかに開催する
予定で準備を進めている。

町長と事務局、私立3幼
稚園の園長にも参加して
もらい、保育所建設計画
に至った経緯、施設利用
の流れ、新しい保育所の
概要等を説明し、意見・
質問を受けたいと考えて
いる。

また、地域子ども・子
育て支援事業について、
本町では現在4事業の実
施となっている。1つに
「妊婦健康診査」、2つ
に「乳児家庭全戸訪問事
業」、3つに「養育支援
訪問事業」、4つに「放
課後児童クラブ」となっ
ている。幼稚園では、
「一時預かり」の1事業
となっている。

この説明会への状況に
ついては、広報紙の特集
になるかどうか、周知す
るとともに、ホームペー
ジで説明会資料等をPD
F化し、質問があった内
容についても開示し、わ
かりやすく発信してい
きたい。

築50年の役場庁舎

小川 1966（昭和
41）年8月7日、

町制50周年と新しい役場
庁舎の落成式が行われた。
築50年を迎える現役場庁
舎の老朽化について伺う。
①役場庁舎には、防災拠
点機能のより一層の強化
が求められている。耐震
補強の課題も頓挫されて
いるが。

②現役場庁舎の耐久・耐
用年数を何年と定めてい
るか。

③今後の補修費や維持費
はますます増大すること
が予想されるが。

④役場庁舎建設構想策定
庁内検討委員会（仮称）
を組織し、基金の積み立
てを検討するなど、実効
ある計画を進めていくべ
きと考えるが。

町長 ①以前まで点在し
ていた防災資機材

を現在、旧東陵中に集約
している。旧東陵中にど
こまでの機能を持たせる
のか検討を進めていき
たい。

役場庁舎の耐震補強の
課題については、平成24



築50年の倶知安町役場

年9月の耐震調査結果は、

耐震性に疑問という報告
内容で、補強・改修等工
事費6億690万円と試
算された。耐震補強を実
施した場合、補強鉄骨な
どが組み込まれ、さらに
狭隘（きょうあい）にな
ることが想定される。耐
震補強工事の実施に踏み
切れず、現在に至ってい
る。

②鉄筋コンクリートづく
りの建築物の耐用年数は
60年と言われている。

③本年度、役場庁舎の修
繕工事として約1400
万円の予算計上をしてい
る。今後も屋上及び外壁
に年数の経過とともに傷

みが懸念される。

④熊本地震では、行政推
進の中核である役場庁舎
を失った自治体まで発生
し、復旧活動をはじめ事
務事業の推進に大きな痛
手を生じたことと推察し
ている。

このような状況を踏ま
え、本町としても今後も
安定した行政サービスの
提供を維持していくため、
役場庁舎建設に係る庁内
検討委員会を立ち上げて
いきたいと考えている。

あわせて財源確保、基
金の積み立て等について
も今の段階から検討をす
べきと考えている。



笠原 啓仁 議員 … 5 件の一般質問

「子ども・子育て支援」 誰もが安心できる体制を

町長：理解得られるよう保護者への十分な説明を行う

笠原

町は新たな「子ども・子育て支援」

制度の開始に向け準備を進めているが、以下の点はどうなっているか。

① 統合保育所について

新たな統合保育所の開所に伴って保護者の経済的、物理的な負担増はあるか。あるとすれば、

しっかりとした対処・対策が必要と思うがどうか。

② 認定こども園について

本町においてはまったく新しい子育て施設となるが、どのような効果や成果が期待できるのか。

③ 合同説明会について

町単独の説明会に加え、町と3幼稚園合同による説明会も開催すべきと思うがどうか。

④ 放課後児童クラブの充実を求める陳情が先日、議会に出された。「知恵と汗とお金」を出し合っ

て児童クラブの充実を。

町長

① 新たな保育所までのアクセスのし

やすさなどが失われる。対策の一案として、ファミリーサポートセンター事業をできるだけ早く実現して、保育施設への送り迎えができる体制を整えていきたい。

② 保護者にとつてのメリットとしては、保護者の働き方に変化があつても、子どもが転園しなくて済むこと。また、保護者が働いている家庭と働いていない家庭との新たな交流が生まれること。

子どもにとつては、保育を受けている子どもも教育を受けている子どもも教育を受けることができ、教育と保育を一体的に受けることができ、社会性を身につけることができることなどが上げられる。

③ 説明会には、3幼稚園の園長も交えて開催するよう調整中だ。

④ 検討課題としては、空き教室の確保など場所の問題がある。さらに、待遇改善を行い長期的な視野で支援員及び補助員などの人材の安定確保など、人材確保の問題がある。

今後、教育委員会や関係機関と連携しながら取り組むを進める。

教育長

福祉医療課とも協議を行っているが大きな課題としてス

ペースの確保の問題、指導員の確保の問題などが上げられている。今後も福祉医療課や学校現場と

ともに課題への対応策について検討していく。

「ひらふ坂ロードヒーティング」電気代負担のあり方は

笠原

① これまで町が負担してきた電気代の合計は。

② 電気代の負担に関する町と地元住民（組織）との協議内容は。

③ 駅前通りと違い、ひらふ坂においては事業者の自己負担はない。電気代の負担を今後どうするか。

町長

① 平成24年度から平成28年度の4月分までで合計2503万3852円（20カ月分）の支出となっている。

② 事業開始当時、電気代の負担割合については、町67%、ひらふ地域33%となる内容を地元検討委員会へ提案し、おおむね理解してもらった。

③ 今後の負担については、現時点で地元負担の手法は見い出せていないが、ロードヒーティング事業化までの経緯を踏まえ、引き続き検討課題とした

い。

「公の施設での喫煙」対策は必要ないですか

笠原

私宛てに保健福祉会館での喫煙を指摘する投書があった。

保健福祉会館は町民の健康増進を図る拠点施設だ。町長は公の施設での喫煙問題をどうするのか。

町長

今後は館内全面禁煙とし、職員への指示を徹底していく。

「町の事務事業執行」監査委員はどう評価していますか

笠原

① 地方自治法は「地方公共団体は最少の経費で最大の効果を上げるようにしなければならぬ」と規定している。わが町では法の趣旨に則って仕事が行われているのか。監査委員の率直な見解を。

② 町長は監査委員の意見や見解をどう受け止め、日々の事務事業の執行にどう活かしているのか。

代表監査委員

本町の事務事業の執行については、厳しい財政状況の中でより一層の効率的な運

営が求められている。それぞれの計画に基づいたさまざまな工夫が必要と考えている。

事務事業の評価については、各担当課において、みずから成果の確認、検証をし、その結果を踏まえて次年度へつなげていくことが重要であると考えている。

町長

個別の事務事業について見直しなど検討が必要であるとされた事項については、監査委員の意見をもとに改善に向けた検討を行っている。

監査委員からの意見や見解を真摯に受けとめ、今後の事務事業において無駄のない行政運営、住民福祉の向上に努めていきたい。

*その他に、「小学校適正配置計画・・・基本理念と目的を忘れずに」を質問しました。

在来線の問題については、道と沿線自治体で対策協議会を作っている。そこで議論して結論をだす。



坂井 美穂 議員 … 3 件の一般質問

胃がんは予防できる 胃がんリスク検診導入と中高生へのピロリ菌検査助成

町長：実施可能な体制となるよう検討する

坂井 胃がんは、罹患率が最も高く、年間約5万人が亡くなっている。

現在、最も有効な胃がん予防対策として、ピロリ菌の検査と除菌治療が行われている。ピロリ菌感染の有無は、血液検査によって調べることができ、最近ではバリウム検診から胃がんリスク検診に移行する自治体も増えている。胃がんリスク検診として採血によるピロリ菌検査を取り入れることができないか伺う。

また、中学生は胃がん患者がほほいないため、内視鏡などを使わずに投薬だけで除菌ができる。

希望する全ての中学生や高校生が検査や治療が受けられる環境づくりが重要と考えられるが、今後、本町としても助成等の取り組みができないかを伺う。

町長

ピロリ菌を除去することにより、胃がん発症のリスクを大幅に下げることが可能とされる。現在、胃がん検診を委託契約している各医療機関と実施可能な検査体制の整備、検査費用の

公費負担の割合、結果判明後の事後フォロー等を実施可能な体制となるよう検討している。

中学生、高校生の検査・治療は、現在は道内では17市町村が実施、27市町村が検診中となっている。中学生に関しては学校健診との関係もあり、教育委員会との検討も含め、保護者への説明、理解も考慮し、どのように取り組んでいけば実施等が可能になるか、検討を重ねていきたい。

5歳児健診と発達障害に対する学校現場の取り組み

坂井

発達障害は、他人とのコミュニケーションが苦手といった特性があり、周囲の理解が不十分なために、日常生活で困ることが多いとされる。

この中で、知的障害のない軽度の発達障害は1歳6カ月健診や3歳児健診では気づかれることが少なく、そのまま就学を迎えることになる。早期発見、早期療育の開始が重要であり、就学前健診で発見されたのでは遅い

とされる。

発達の問題が明らかになってくる5歳児にも健診を行うことで、適切な就学につなげていくことができると思われる。本町でも5歳児健診を導入できないか伺う。

また、今回の改正発達障害者支援法で、教育面では発達障害がある子どもがほかの子どもと一緒に教育を受けられるように配慮すること、一人一人の特性に応じ、学校で個別計画を作成し、いじめ防止対策や福祉機関との連携も進めるとされているが、学校教育現場での取り組みについて教育長に伺う。

町長

5歳児健診を発達障害児のスクリーニングの場として位置づけて、発達障害を確実に見つけることは重要なことだが、スタッフの確保も厳しい状況であることを鑑み、現在、平成27年度より5歳児アンケートを町内保育所及び幼稚園の協力を得て実施している。

教育長

個別の支援計画の作成や具体的な支

援方法などについて、保護者との協議を行い、発達に応じた支援を行っている。

教育委員会では、昨年度に倶知安町特別支援連携協議会を立ち上げたが、この組織を少しずつ充実させながら、また、関係機関と連携を密にし、情報交換を行えるような体制を整え、切れ目のない支援体制の整備に向け、取り組んでいきたい。

坂井

発達障害に対する無理解から生じるいじめ等を防止するために、教職員への研修等の取り組みを伺う。

教育長

後志教育研修センターでの研修講座、北海道の特別支援教育センターから講師の派遣を受けて研修会などを実施している。

文化福祉センターバリアフリー化と統合保育所

坂井

障害者差別解消法が平成28年4月1日より施行されているが、環境の整備として、公共施設のバリアフリー化へ

の取り組み、特に文化福祉センターのバリアフリー化として、エレベーター設置が望まれる声が多く聞かれるが町長の見解を伺う。

また、この法律の中で、障がいがあってもなくても、子ども達が出るだけ同じ場所で共に学ぶことを目指すなどのインクルーシブ教育システムを推進されているのに対し、統合保育所は3歳児以上の障がいのある子どものみとされていることへの見識を問う。

町長

文化福祉センターのエレベーター設置は、現在の財政上からは単費としての取り組みは厳しい。補助メニューや財源的に有利な手法を模索しながら、設置に向けて検討。

統合保育所の3歳以上の受け入れ枠24名については、障がいのある子どもを優先して入所させるが、認定こども園側の受け入れが困難な子どもも統合保育所で受け入れる。障がいを持っていない子どもだけに限定しているわけではない。

保護者説明会は7月13日に実施され、7月19日の委員会では、この保護者説明会での説明内容や町民の意見等を確認し、議会活性化特別委員会で開催された「まちなか懇談会」での町民の意見も参考に、統合保育所の開所時期、送迎バス等の対応等について、活発な質疑が行われました。

今後この統合保育所が、子ども達の健やかな成長を願う拠点施設として開設できるよう、引き続き調査を行い議論していくこととしています。

町民の広場

田中 晴奈さん
(20歳)

◆今月は、田中晴奈さんに倶知安町や初めての投票についてインタビューしました。

Q 友達とは普段どんなお話をしていますか。

A 仕事の話とか、飲み会の話、恋愛などの話を良くします。時には街の話題が出たりします。

Q 街の話題ですが、どんな事を話しますか。

A たとえば、じゃが祭りなどとても楽しいのですが、花火をもっと盛大にして、日曜日じゃなく土曜日だと沢山の見物客が来るのではとか、おしゃれなレストランや、野菜、果物があって、広くてゆったり過ごせる広場(道の駅など)があるといいね、など話しています。ピアガーデンがあるのもっと良いと思います。

また、私は朝野球のチームにマネージャーと

して参加していますが、様々な年代の方々と交流がさまざま出来るのでとても楽しいです。色々な年代の方々と交流が出来る機会があると良いと思います。

Q 今回の参議院議員選挙は、初めての選挙でしたが、投票に行きましたか。

A 投票しました。とても緊張しました。とて期日前投票をしたのですが、やり方が分らず、少し戸惑いましたが、無事投票をしました。

Q 投票をしての感想はありますか。

A 今回は国政選挙でしたので、身近にあまり感じませんでした。町長選挙、町議選挙だともっと身近に感じる事が出来ると思います。

この一票がどのように世の中が変わるのかな、という疑問もありましたが、まずこの一票が無ければ始まらないとも思いました。

Q そうですね。その一票が大切ですね。その一町や、議会に何かご意見がありますか。

A 給料を初めてもらった時、税金、年金、保険料が思った以上に高いのに驚きました。

また、外国の方や、観光客が多く来て、ホテルなどが沢山建って、観光都市になっていきます。それなのに何時も「町財政が大変です」と言っているのはどうしてですか。また年金も将来本当にきちんと貰えるかも心配です。

私たち若い人が安心して働き、子どもを育て暮らせる町にして貰いたいと思います。

Q 最後に議会広報紙を年に4回発行していますか。読んでいますか。

A 見たことはありますが読んでいません。町報と一緒に配達されますが、白黒で、文字ばかりで暗そうなので読む気になりません。もっと写真が多くて、カラーだと良いと思います。

◆ご意見、協力を、ありがとうございます。

議長室からこんにちは



「後の雛」(のちのひな)という風習をご存知ですか？ 後の雛は江戸時代に親しまれた風習ですが、平成の今は大人の雛祭り」と称され注目されているらしいですが、もっと素敵に秋を彩るために、「後の雛」楽しい響きの言葉ですね。9月9日に行われていた年中行事で、菊を用いて不老長寿を願うことから別名「菊の節句」とも言われ、昔は節句の中でも最も盛んに行われていたと言われています。行事の心や風情に魅力があるためでしょう。昔からの行事は1年を通じて人生や暮らしの営みを表しており、毎年それらを繰り返すことで人生を豊かにしてきたそうであります。

今年の倶知安の農産物はわりかし順調で豊作とまでにはほど遠いのですが、今年並みの収穫が期待できるようです。倶知安町議会も開かれた議会、町民目

線の議会を目指して着々とその成果を上げています。北海道内でも自慢できる地方議会になっています。しかし、どんなに議員が懸命に町と議論をしても町民の方の意見や要望とかみ合わないところもあります。「議会議員は町民の代表である」それを念頭にこれからも前を向いて、より町民の皆様の声を反映させることの出来る議会を目指します。

最近の新聞に北海道議会の会派で「北海道分県研究会」を設立し、北海道を複数の県に分割する「分県論」の議論を始めたとの記事が掲載されていました。

「知事一人では、広大な北海道の地域課題に目が行き届かない」と指摘していますが、私はこの広い大地「北海道」をあえて小さくして知事を二人三人にする案には合点がいきません。近年の道議会は一票の格差は正、逆転区の解消と称して管内の道議会議員の定数を減らしています。住民不在の数の理論が先に立ち道議会だけで決定したのです。

住民の声をどのように反映していくのかは、道議会も町村議会もみな同じです。議員が住民との触れ合いを忘れてはなりません。これからも「みんなのため」の議会として役場の心を大切にします。この豊潤な秋をお楽しみください。

倶知安町議長 鈴木 保昭

議会の動き (平成 28 年 5 月 1 日～平成 28 年 7 月 31 日まで)

5 月 9 日	後志総合開発期成会定期総会等に議長出席	6 月 7 日	北部方面総監部・第 11 旅団長表敬訪問、ウェスティンルズツリゾートグランドオープンセレモニーに議長出席
10 日	キング第 3 リフト更新工事地鎮祭に議長出席	8 日	議会活性化特別委員会
11 日	議会活性化に議長出席 統合保育所の各特別委員会	9 日	北海道町村議会議長会定期総会・後志町村議会議長会臨時総会に議長出席 羊蹄山麓町村議会議長会臨時総会に正副議長出席
12 日	総務常任委員会	10 日	北海道新幹線しりべし協働会議総会に議長出席
13 日	全道サマクロカン倶知安大会実行委員会総会・倶知安観光協会通常総会に議長出席	11 日	羊蹄山ひらふ登山口コース・半月湖開き・羊蹄山遭難者慰霊祭に議長出席
17 日	経済建設常任委員会・「(仮称) JETRO・羊蹄輸出協議会」設立総会に議長出席	13 日	本会議「一般質問」 議会運営委員会・経済建設常任委員会 自衛隊駐屯地特別委員会
18 日	議会活性化特別委員会・広報特別委員会 倶知安土地改良区通水式に副議長ほか議員出席	14 日	本会議「一般質問」 総務常任委員会・厚生文教常任委員会
19 日	厚生文教常任委員会 倶知安町議会議友会定期総会に副議長出席	15 日	本会議「一般質問」・議会運営委員会 議会活性化特別委員会
20 日	総務常任委員会 倶知安地方食品衛生協会定時総会に副議長出席	16 日	本会議「議案審議」 統合保育所に関する特別委員会
22 日	隊友会倶知安支部懇親会に議長出席	17 日	倶知安厚生病院 後援会設立総会に議長出席 第 33 回防衛問題セミナー議長ほか議員出席
23 日	倶知安町議会第 4 回臨時会 議会運営委員会・会派代表者及び無党派会 しりべしのみちづくりを考えるシンポジウムに議長ほか議員出席	24 日	文化庁方面総監講話に議長ほか議員出席
24 日	熊本県災害派遣員帰還式に議長ほか議員出席 北海道新幹線建設促進後志・小樽期成会理事 会・総会及び北海道横断自動車道黒松内・小樽 間建設促進期成会総会・後志総合開発期成会後 志段階要望に議長出席 社協定期評議委員会に副議長出席	26 日	倶知安駐屯地創立 62 周年記念行事に議長ほか 議員出席
25 日	議会活性化特別委員会議員研修会 倶知安町老人クラブ連合会定期総会に議長出席	27 日	経済建設常任委員会・広報特別委員会
26 日	後志総合開発期成会道段階要望に議長出席 北海道防衛局・札幌医科大学表敬訪問に議長出 席・総務常任委員会	28 日	倶知安商工会議所通常議員総会に議長出席
29 日	国道 5 号倶知安余市道路(共和～余市)着工式 祝賀会に議長出席	30 日	経済建設常任委員会
30 日	議会活性化特別委員会	7 月 1 日	倶知安厚生病院交流会に議長ほか議員出席
31 日	厚生文教常任委員会	2 日	さっぽろ倶知安会定期総会・親睦交流会に議長 ほか議員出席
6 月 1 日	経済建設常任委員会	5 日	防衛省要望に議長出席 北海道町村議会議員研修会に議員出席
2 日	総務常任委員会 後志総合開発期成会中央要望に議長出席	6 日	羊蹄山麓町村議会議長会 議運・常任委員 長視察研修に各委員長出席
3 日	議会運営委員会 厚生文教常任委員会・広報特別委員会	13 日	夏の交通安全「セーフティの日」に議長出席
4 日	ニセコ山開きに議長出席	14 日	総務常任委員会
5 日	第 11 旅団創立 8 周年及び真駒内駐屯地開庁 62 周年記念行事に議長出席	15 日	倶知安消費者大会に副議長出席 ようてい農協 20 周年記念祝賀会に議長出席
6 月 6～16 日	倶知安町議会第 2 回定例会	19 日	経済建設常任委員会 統合保育所に関する特別委員会
6 日	本会議「行政報告・議案審議」 厚生文教常任委員会 会派代表者及び無党派会議・議員会総会	20 日	議会活性化特別委員会
		22 日	広報特別委員会
		25 日	倶知安町戦没者追悼式に議長ほか議員出席
		26 日	羊蹄山ろく連合消防演習に副議長ほか議員出席
		27 日	総務・厚生文教・経済建設の各常任委員会 総合保育所・自衛隊・広報の各特別委員会

《編集後記》

私が議会広報紙の編集に携わり 1 年余りが経ちました。毎回編集には苦慮していますが、広報特別委員会では分りやすい広報紙作りに役立てるため、アンケートを取ることもになりました。その結果を参考に編集作業をし、多くの町民の皆さんに親しんで頂けるように試行錯誤していきたく思います。

さて、4 月に開催した議会報告会を本号において掲載をしました。初回の試みということもあり、次の開催に向けての改善点も多く見つかりました。議会報告会の内容については今後も引き続き精査をし、報告したいと思っています。

また、統合保育所や計画など、大きな事業が進行中ですが、行政へのチェック機能を議会がしっかりと行い、議会としての責任が果たせるように活動していきたいと思っています。

(木村聖子委員)